



企業と生物多様性セミナー



日時

2015年

9月16日(水)

14時～16時30分

第15回 地域に根ざした保全活動



場所

千葉市ビジネス支援センター会議室
きぼーる13階 (裏面地図参照)

対象

県内に工場・事業所がある企業
70名 (参加無料)

主催

千葉県
一般社団法人 千葉県経済協議会
一般社団法人 千葉県環境保全協議会

申込・問合せ

事前申込制：千葉県生物多様性センター企業セミナー担当宛に下記内容を記載の上、メール又はFAXでお申し込み下さい。

締切り：9月11日(金) (必着)

Email hogo10@mz.pref.chiba.lg.jp

Tel 043(265)3601

Fax 043(265)3615

工場や事業所において生物多様性の保全に取り組む際には、地域貢献の視点が必要です。そのためには、地域の自然環境を知ることと、地域住民や自治体とのコミュニケーションが大切です。

今回は、こうした視点から生物多様性の保全に取り組んでいる横浜ゴム㈱の桜井光雄氏に御講演をいただきます。

セミナー内容

◆講演

～青い地球と人を守る～

横浜ゴムの生物多様性保全活動

横浜ゴム㈱ CSR本部

CSR・環境推進室顧問 桜井 光雄氏

※詳しくは裏をご覧ください。

◆報告

生物多様性と遺伝資源(バラの場合)

千葉県生物多様性センター 副主幹 御巫 由紀

◆お知らせ

アルゼンチンアリ(特定外来生物)に関する情報提供

千葉県衛生研究所 主任上席研究員 竹村 明浩

第15回 企業と生物多様性セミナー申込書

会社名		業種	
連絡先	Tel	E-mail	
参加者の所属 職名	_____		

桜井光雄 (さくらい みつお) 氏

横浜ゴム(株)CSR本部 CSR・環境推進室 顧問



1975年に横浜ゴム(株)に入社後、タイヤ用ゴム材料の開発と管理業務に従事。2005年から生産管理部長、生産技術部長、三重工場副工場長、新城工場長、米国セーラム工場長を経て、2012年10月からCSR・環境推進室長(理事)、2014年10月より同顧問。COP10開催時に地元新城工場長としてCSR、環境活動に関心を持つ。CSR・環境推進室に移った後は、社内外で横浜ゴムの取り組みを紹介している。

講演趣旨

横浜ゴム(株)はCOP10開催年の2010年に「生物多様性ガイドライン」を制定・発表し、生物多様性保全活動の取り組みを開始した。当社では生産設備の冷却に多量の水を使用しており、地下水や河川からの取水を行っているため、水に着目した生物多様性保全活動を行うこととした。

当社の生物多様性保全活動は**ステップ展開**を特徴としている。事業所がおかれている周辺の環境を大まかに捉え層別化した後、実際に生物相を調査し、保全対象生物種の絞込み、保全場所など活動内容を検討し、地域住民への説明を行いながら具体的な活動を決定している。2011年、当社事業所で最もランクの高い(自然豊かな)**三重工場をモデルに活動をスタート**した。以降ステップ展開を国内7拠点に拡大し継続している。

海外では2013年からタイの2工場で予備調査を開始し、2014年から本格的な活動を開始している。2015年からは中国・フィリピンの2工場で調査を開始し、生物多様性保全活動の拡大を図っている。

生物多様性保全活動のもう一つの大きな特徴は、**従業員自らが活動すること**にある。地域住民や行政ともコミュニケーションを取りながら、事業活動の継続及び持続可能な社会実現に向けた活動を展開している。

今回、この特徴ある活動での失敗事例なども交えた具体的な取り組み内容を紹介する。

■ 会場案内図 ■

千葉市ビジネス支援センター会議室

千葉市中央区中央4-5-1

きぼーる 13階

■ 事前申込制 ■

表面下部の必要事項を記載の上、千葉県自然保護課生物多様性センター企業セミナー担当宛に、メール又はFAXでお申し込み下さい。

締切り：9月11日(金) (必着)

Email hogo10@mz.pref.chiba.lg.jp

Fax 043(265)3615



JR千葉駅より1,000m (徒歩15分)

京成千葉中央駅より430m (徒歩5分)

千葉都市モノレール葭川公園より350m (徒歩4分)

バス(千葉駅東口) のりば1「大宮団地」行・のりば7「大学病院・南矢作」行・のりば10「中野操車場・成東駅」行
中央三丁目下車(当バス停前)